

様式第3号（第13条関係）

会議録

会議の名称	令和5年度第2回朝霞市博物館協議会	
開催日時	令和6年2月20日（火）午前10時～午前11時13分	
開催場所	朝霞市博物館 講座室	
出席者及び欠席者の職・氏名	出席者 委員10名（金子幸男会長・茂木静枝副会長・猪俣みちよ委員・榎本洋二委員・杉山正司委員・鈴木香織委員・陶山憲裕委員・利根川仁志委員・原口憲充委員・吉岡知子委員） 事務局2名（赤澤文化財課長兼博物館長・高橋主任）	
議題	1 令和5年度事業報告 2 令和6年度事業計画及び進捗報告 3 その他	
会議資料	資料1 令和5年度事業報告 資料2 令和6年度事業計画	
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input checked="" type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	<input type="checkbox"/> 要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	<input checked="" type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月
会議録の確認方法	会長による確認	
傍聴者の数	なし	
その他の必要事項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

（傍聴者確認）傍聴者なしを会長へ報告
（高橋主任による司会進行、資料の確認）
（赤澤課長から、利根川委員が朝霞市博物館協議会委員に再任命された件、榎本委員が博物館協議会委員の任期10年を迎え、朝霞市教育委員会表彰に選出された件について報告）。

（利根川委員から挨拶）
（榎本委員から挨拶）
（金子会長から挨拶）
（金子会長へ議事進行を依頼）

（金子会長）
それでは議事に入らせていただきますが、本協議会の議事録の確認ですが会長である私に一任させていただいてよろしいでしょうか。

（全員）
異議なし。

（金子会長）
本日の議題は、1 令和5年度事業報告、2 令和6年度事業計画、3 その他、の3件の議事となっております。それでは議題1 令和5年度事業報告について事務局から説明をお願いします。

議題1 令和5年度事業報告

（赤澤課長）
それでは資料1 令和5年度事業報告について御説明させていただきます。令和6年1月31日現在での事業報告のため、2月の出来事等については口頭で御報告させていただく場合がございます。また、第1回博物館協議会の際に、上半期については御報告しておりますので、簡単に御説明いたします。

まず1月31日現在での開館日数は240日、入館利用者数は1万9452人です。入館利用者数の数え方ですが、入口のカウンターで入館者数をカウントし、それに出張授業等の人数を足した合計を、入館利用者数としています。そのため常設展示等の参加人数は、入口カウンターで数えた人数のみとなっております。1月31日現在はまだ出張授業がないため、入館者数と常設展示の参加人数が一致している状態です。これは、展示室内にはカウンターを設けておりませんので、入館イコール常設展示の方を御覧いただいていると解釈するものです。学校団体については25団体、823人、一般団体については87団体、876人の御利用をいただきました。

続きまして2番目、令和5年度事業報告について、期間限定常設展示の民俗分野と美術工芸分野については、従来、3月の下旬頃から展示復旧予定でしたが、年度当初に大きな展示を予定しており、詳しくは6年度計画で説明させていただきますが、その関係上、5年度については、4月から8月までの展示のみとしています。第37回企画展は10月14日から11月26日まで開催しました。森林環境譲与税を活用した展示で、2,993人の御参加をいただきました。また併せて小学生向けの体験教室を2回行い、定員

10人に対して、それぞれ12人の御参加をいただきました。前回会議で杉山委員から資料に定員を入れたほうが分かりやすいとの御指摘をいただき、記載をしています。

続きまして2ページ目を御覧ください。現在開催中のギャラリー展示「朝霞と地震―関東大震災から100年を迎えて―」について、館蔵資料から展示を行っています。終了後にまた御覧いただければと思います。次に、収蔵資料展示ですが、こちらも第1回協議会で、杉山委員から名称が分かりにくいとの御指摘をいただき、収蔵資料紹介展示から収蔵資料展示に表記を変更しております。こちらは、小学校3年生の博物館利用授業に合わせて昔の道具を展示しております。①の部分は昨年度からの続きのものなのですが、こちらとまた②とは若干内容を変えて展示しています。現在9校に来館いただいております、あと1校が2月29日に来館予定です。こちらも年度明けまでの展示予定です。また資料紹介展示「ワタから糸へ」の②の方をエントランスで実施しています。

続きまして講座です。歴史講座「古文書から見る江戸時代の朝霞」について、今週の土曜日から3週連続土曜日に開催予定です。3回連続で参加出来る方を募集し、定員40人のところ35人の方に応募いただきました。また、現在5回目まで終わっている古文書講座「～はじめての古文書～」については、定員36人に対して受講者が39名おり、全員受入れとさせていただきます。

博物館体験教室③「火おこしに挑戦！」は、12月3日、定員各回5組、ホームページ内の申込フォームにて先着順で募集したところ、1日で定員満了となったため、定員より少し多めに受付しております。先着順で募集を締め切ったため、実際の希望者数は不明ですが、次回以降は受付方法や回数を増やす等、対応させていただければと思います。コロナ禍前は応募が少なかったため、それほど参加者を見込んでおりませんでした。申込方法が若い世代にフィットしたのか、予想を上回る応募となりました。博物館体験教室④「おりがみで干支を折ろう！」ですが、このところ毎年実施しており、干支に因んだ折り紙の作品を作るもので、こちらは作るのが難しいため、小学5年以上を対象とし、基本的には大人向けを意識しています。各回定員12人のところ、実際には午前12人午後12人を当選としましたが、もろもろあり午前13人午後9人の参加となりました。博物館体験教室⑤「糸車で糸を紡ごう」はこの後、3月に2日間、それぞれ3回ずつ行う予定です。対象はどなたでも、小学校3年生以下は保護者同伴、定員は各回6組（1組4人まで又は1家族）という形にし、こちらも申込フォームでの申し込みを予定しています。

続きまして、5ページ目「小学校3年生博物館利用授業」について、郷土学習を始める市内小学校3年生を対象に、展示室での調べ学習と、体験教室での石臼と縄ない機の体験を実施しています。教育指導課と連携し、教育指導課でバス借り上げ予算をとっています。第三小学校、第六小学校、第二小学校については徒歩、それ以外の7校についてはバスでの送迎をしています。こちらも、最後第十小学校の4クラスが残っています。また、⑫2月7日第八小学校の1クラスについては、当初予定していた日がインフルエンザで学級閉鎖となったため、改めて2月7日にお越しいただいたものです。

なお、従前から課題となっているお休みした児童等への博物館利用授業の同時中継ですが、博物館展示室のWi-Fi環境が悪いため、今年度もポケットWi-Fiをデジタル推進課からお借りし、1校の御利用がありました。⑥1月24日の第一小学校について、学級閉鎖で来館出来なかった1クラスがポケットWi-Fiを利用し展示室から配信を行い、その後、改めて2月8日に実際に来館して体験等をしていただきました。先生にお伺いしたところ、一度配信で見ていることが、その後の体験の良い事前学習となったとお声をいただいております。また、具合が悪くて配信を見ることが出来ない児童もいたので、その後にもう1度改めて授業を実施して貰えて良かったというお話をいただいております。また、第一小学校さんのみこちらで用意しているワークシートに加え、

タブレットを使っての学習も取り入れていました。今後そういったタブレットを使っての学習も増えていくのではないかと思いますので、博物館利用検討委員会等でその点についても検討していければと考えております。

次に、小学校1年生博物館利用事業です。去年まではコロナのため貸し出しのみとしておりましたが、今年度から出張授業を復活させ、今日も、第二小学校4クラスに出張事業部隊が行っております。博物館から糸車を持って行き、国語の教材「たぬきの糸車」に登場する糸車を実際に体験してもらう事業です。私も2月14日に行かせていただきましたが、子供たちがとても楽しそうにやっていたらして、また「今日は博物館から来ましたが、皆さんもぜひ博物館に来てくださいね」と最後呼びかけをしたところ、早速週末に親子で来館する姿も見られました。

次に調査についてですが、古文書調査については、前回杉山委員よりこういったものを調査しているのか掲載した方が良いとの御指摘いただき、目録の整理および解読を行っているものについて、目録は「比留間ヨシ家文書」、こちらは来年度刊行予定です。解読は「細田優家文書」、こちらは「古文書をひもとく会」「朝霞古文書の会」という朝霞の団体が2団体ございまして、そちらと協働して行っております。

6ページ、利用者アンケートについて、回答者数116人、回答率0.6%、去年の0.2から少し増えています。その他、それぞれの講座や体験教室の際にも個別にアンケートを実施しています。また、最後のページに過去5年間の入館者数の推移を入れています。

(猪俣委員)

一般団体の利用者数が、昨年と比べて3倍くらいに増えていますが、何か特別な理由があるのでしょうか。

(赤澤課長)

令和4年度はコロナ禍のため、先ほどの古文書解読の2つの団体以外は、団体利用を御遠慮させていただいておりました。5月9日以降この制限を解除し、現在はデイサービスや障害者施設などに多くお越しいただいております。

(利根川委員)

体験教室や講座などの申込フォームの詳細についてお伺いします。

(赤澤課長)

申込フォームは、市ホームページのアンケートフォームを利用したもので、申込完了メールが自動配信されない、当落通知が一斉送信出来ないなど、使いづらい点があります。市全体の課題として担当課には声を上げておりますが、現在のところアンケートフォーム以外のものがない状況です。

(利根川委員)

ぎりぎりにならないと定員に達するかどうか分からない場合もあるかと思いますが、定員よりも若干応募が多い場合は臨機応変な対応をしていて、あまりにも多いと抽選になるということですか。

(赤澤課長)

令和4年度も「糸車で糸をつむごう」は申込フォームで募集しており、2回開催予定だったものを4回に増やしています。また1日のうちで回数を増やして対応できる場合は

対応するなどしております。

(杉山委員)

ギャラリー展示を拝見させていただきました。能登半島地震がありタイムリーな展示であったと思います。昨年度同時期の古事記の展示は6月まで継続していたと思いますが、今年度は4月までで展示終了予定とのことで、能登半島地震のこともありますし、また資料的にもパネルのため問題はないかと思っておりますので、6月まで継続してもよいのではないかと思います。

また、橋本正之助さん、地元の方に関する資料が展示されていますが、原文そのままでは句読点がないため、今の人や子供達が見ると分かりにくいかと思っております。要約でもよいので添えたほうがよいかと思っております。また、危機管理室の防災マップのパネルがありますが、小さくて見づらいので、あえて大きく伸ばしてもよかったですかと思っております。また、4ページの博物館体験教室⑤「糸車で糸を紡ごう」ですが、ここだけ担当が当館学芸員等となっていますが、この資料は公開の対象になるかと思っておりますし、学芸員のモチベーションのためにも、もし決まっていれば担当学芸員の氏名を記載するとよいかと思っておりました。

(陶山委員)

関東大震災のときの朝霞地域については、私のところのお寺でも棟が倒れたなど、当時の話を古老から聞いておりました。そういった大きな被害ではないですが、小さな被害もありますし、杉山委員がおっしゃっていたように、能登半島地震もありましたので、もう少しギャラリー展示の会期を延長してもよいかと思っております。また、朝霞の液状化のマップなどももう少し大きいと、自宅の周りはどうなっているかなど、お子さんでも誰でも興味を持ってもらえるかと思っております。

(原口委員)

2月14日の小学校1年生利用授業を見せていただきました。子供が本当に楽しく参加していたので感謝しております。1つ質問ですが利用者アンケートはスマホを使ってフォームで回答するのでしょうか。

(赤澤課長)

館内にアンケート回収箱を設置しております。紙でその場で書き、アンケートの箱に入れていただいています。以前も杉山委員にアンケートについてネットで回答出来る方法も模索したほうが良いのではないかと御指摘をいただいておりますが、現在のところまだ構築出来ておりませんので、紙での回答としています。

(金子会長)

小学校1年生国語科「たぬきの糸車」など、博学連携について熱心に取り組んでいただいています。3年生は教育委員会でバスを借上げ、どこの学校も公平に来ていただいているとのことで、大変良い取組だと思っております。それでは他になれば、資料2の説明をお願いします。

議題2 令和6年度計画

(赤澤課長)

資料2の1ページ目をお開き下さい。テーマ展示「池田幹雄追悼展」は、長年朝霞市美術協会の会長として尽力され、令和4年11月に逝去された池田幹雄先生の追悼展を5

月1日から31日に開催予定です。この関係で、もろもろの展示を4月7日に終わらせて展示替えを行う予定です。こちらは令和6年度の新規拡充事業として提出しています。

第38回企画展は、考古担当の学芸員による展示で、「朝霞の古墳時代」と題して行う予定です。実はこのタイトルで企画展を行うは初めてで、古墳時代を総括して行う展示はこれまであまりなく、また今年度の発掘調査で内間木古墳群から新たな古墳が発掘されたということもあり、この機会に展示を開催する予定と聞いております。

またギャラリー展示「朝霞発掘調査速報展」は、文化財保護係の埋蔵文化財発掘調査担当の企画でして、今年度初めて実施し、その時に使い回しが出来るパネルを用意し、毎年報告していければということで、夏の時期に実施を予定しております。

冬のギャラリー展示は令和7年1月～6月を予定しております。

2ページ目、3ページ目は今年度と同様の流れで行う予定です。また、ここには書いておりませんが、今年度、博物館の外壁等改修工事の設計委託を行っており、来年度工事予定です。4月に入札を行い、6月頃の着工を予定しています。その関係で池田幹雄追悼展を春先とし、夏場工事を実施し、学校の博物館利用授業がある冬頃には工事が終わっている予定です。基本的には閉館を伴わない工事ですが、屋上の防水と外壁タイルについて足場を組んで工事を行うため、来館者の方には音や、また駐車場を一部閉鎖するなど、御迷惑をおかけするところもございます。館内については特に影響はないと考えております。また次の博物館協議会の頃、工事中の状態でご案内させていただけるかと思っております。

(杉山委員)

3ページの刊行物、調査報告書第12集「比留間家文書」ですが、関わった方々の名前も報告書に入れて、モチベーションを上げていただきたいと思っております。

また、他の自治体の文化財保護審議委員も務めており、よく審議に諮るのですが、市の指定文化財として目録をまとめたので指定したいということが多いので、なぜ指定するのか市民の方の理解を得なければならないと思っております。ただ目録を作って保存するのではなく、活用するために、展示公開、紀要などで、その文書の位置づけ、どういった点がすごいのか、活用の面で公開して市民の方に知っていただく必要があると思っております。この報告書を生かした展示、研究紀要への公開を考えていただければと思います。

(利根川委員)

全体的なことで、枠配分予算の中で、他の課では新規事業を実施する際に、今までの事業を見直して新たな事業を検討することもあるかと思っておりますが、博物館は枠配分予算の中で苦勞した点や、予算的なことも含めて思い通りの予定を組めたのかどうかいかがでしょうか。

(赤澤課長)

今年度開催した第37回企画展は森林環境譲与税を活用したため、枠配分の中ではありませんでした。テーマ展示は新規事業なので別枠で貰えますが、今年、くん蒸と企画展を実施すると枠を大幅に超えてしまいます。そのため部内の他課の協力を得て、くん蒸と企画展の予算を確保しました。また、その際に、くん蒸は毎年やる必要があるのかという意見が出ましたが、当館は空調設備が古くなっており、今の状態で年1回のくん蒸をやめると、虫が湧いてしまうよくない環境にあります。そのため、大規模改修により空調をきれいにしてから、くん蒸を数年に1回に減らすか、もしくは環境調査を行って虫が出たらくん蒸をする形に変え、新しい資料が入ったらそのものだけ委託に出す、もしくは袋に入れてくん蒸するタイプがあるのですが、そういった小規模なくん蒸で対応しよ

うと、長期的な計画としては考えています。

(利根川委員)

また予算とか環境ですとか、相談していただければしっかり取り組みます。もう1点、博物館利用授業について、オンラインを利用したのは第一小学校だけとのことですが、原口先生にお聞かせいただければと思うのですが、博物館利用授業などで、オンラインを使って不登校の児童へ同時に見ていただきたくなど不登校のお子さんへの配慮について、こういった取組があるのかお伺い出来ればと思います。

(原口委員)

オンラインの利用は良い取組だと思いますが、現地に行って、本物に触れ、実際に人と対話をするというのも大切ですので、それが難しい場合にはネットなど様々な手法を使っていたらありがたいと思っております。

(鈴木委員)

中学校も社会、理科、美術など、繋がれる内容のものはあると思いますので、教科の授業の中で繋がりが持てるとよいと思います。例えば理科でいうと関東大震災を1年生の3学期に主に習うので、その時期に合わせて交流など、何か出来ればと思います。それぞれの教科の内容と関連するものを結び付けて利用出来るようになるとよいと思いました。

(赤澤課長)

丸沼芸術の森さんとの展示の際は、美術に関係するので、中学校の美術部に御案内をさせていただきまして、第五中学校さんからは授業で団体利用したいとのオファーもございました。もう少し門戸を広げて、いろいろな教科でアプローチしていければと考えています。その際は先生方にも相談して進めさせていただければと思います。今、理科のほうで何かアプローチをとの御意見も伺いまして、今回の展示では理科方面の話題は入っていないのですが、朝霞の地層などと歴史的な部分とを合わせて見ていただくことも出来ると思うので、当館の資料でこういったことが皆様に出来るのか検討させていただければと思います。

また、博学連携とは違うのですが、1年生の3学期に3 Days、職業体験を各校で行っておりまして、博物館では全校を受け入れています。現在、2名ずつ来ていただいております、この間、第五中学校も終わったところです。職業体験を通じて博物館や学芸員の仕事を体験していただいております、このようなところで中学校とも交流をはかっています。

(吉岡委員)

先ほど、くん蒸と空調のお話について御説明ありましたが、長期的なお話になりますが、空調が安定しているのが博物館の資料保存にとっては望ましい状態で、近年ではくん蒸を毎年行うと環境の面でも良くないので、本来であれば、空調設備を整えて収蔵庫の掃除などをしっかりとし、くん蒸は本当に数年に1回程度とするあり方が望ましいと、美術館博物館ではされていますので、予算的に難しい部分もありますし、空調は市民の方にもどこを改修したのか分かりにくい面があると思うのですが、なんとか市の方々と協力して空調設備について直していければよいと思いました。

(茂木委員)

令和6年度計画の冬のギャラリー展示について、どのような内容を予定しているか、

もし決まっていることがあればお聞かせください。

(赤澤課長)

冬のギャラリー展示については、4月に人員体制が整い次第、担当を決めます。その担当に朝霞の歴史民俗美術等に係るテーマで展示を計画してもらうため、内容は今のところ未定です。また、展示期間が長く、ギャラリーは環境が悪いため、写真パネル等を中心とする予定です。今回の関東大震災から100年というテーマも、今年度しか出来ない内容ということで取り上げまして、少し時期的に遅いとも思いましたが、逆にタイムリーな展示となり、写真等については配慮させていただきました。また時期的に合うテーマがあれば、それに合わせて実施していければと思います。

(猪俣委員)

博物館登録の進捗状況について教えていただければと思います。また一つアイデアとして、市民の方の関心を高めるために、朝霞市は博物館があり、再登録したということ、例えば広報に載せるなどすれば、市民の方にも興味を持っていただけるかと思いません。

(金子会長)

博物館を広めるためにはいろいろな方面で広報していただければと思います。また、私はいつも思うのですが、丸沼芸術の森さんが市内にあり、榎本委員がいて、いろいろと博物館と繋がる人が多いと思うのですが、逆に芸術の森さんの方からこのような作品をお貸しするので、展示をお願いしますということはあまりないのでしょうか。博物館からお願いすることが多いのかでしょうか。そうではなくて打ち合わせするのでしょうか。

(榎本委員)

これまでのケースをお話ししますと、何かコレクションするとき、すでにあるコレクションに新たに加わったり、まったく単独で良い作品が来たり、様々なケースがありまして、いろいろな形で市と協働しているのですが、どちらかといえば私が直接関わるといふより、代表と市長とやり取りがあって進んでいくというケースが比較的多いです。今年度は他のことで丸沼芸術の森が忙しかったので、また何かあれば良い内容のものを御提供出来ればと思います。私自身もそのあたりは勉強して、働きかけるような形で御協力申しあげたいと思っています。

(金子会長)

世界的に有名な良い作品がたくさんございますので、ぜひ御協力いただければと思います。

(榎本委員)

しばらく前に、館長さんに丸沼芸術の森で講演していただき、博物館さん側からもそういう形で今まで以上に結びつくような動きがありますので、館長さんだけでなく他の学芸員の方でも何かそういう形でお手伝い出来ればと思っております。

(金子会長)

テーマ展示の池田幹雄先生は朝霞市浜崎の御出身でしたか。

(赤澤課長)

御出身は函館で、朝霞の膝折町に長くお住まいになられて、晩年は新座のほうにお引越されました。

(金子会長)

素晴らしい絵を多く描かれた方で、作品展をぜひ観たいと思います。このような方が朝霞にいらっしゃったということで、ぜひ皆様にも展示を観ていただきたいと思っております。

(赤澤課長)

チラシ等出来ましたら、お送りさせていただきます。また、市役所のロビーに池田先生の大きな絵が飾られています。

議題3 その他

(赤澤課長)

博物館登録の進捗についてお話させていただきます。今年度登録を予定しておりまして、明後日、県の有識者の方が実地調査でいらっしゃる予定です。書類は1月31日に提出が終わっておりまして、それまでに何度かやりとりがあって、博物館の土地に関する事、資料に関する事などの書類を提出しています。また実地調査で何か御指摘事項があればそれを改善していく方向で、今後計画に入れさせていただければと思います。

また、再登録が完了したら、広報あさかやHPなどで御報告し、皆様に御利用いただく機会になればと考えています。なお、空調の改修については、来年度、設計委託を計上し、新規事業として認められていますので、予算が通れば、設計をして、令和7年度に空調設備の改修予定です。空調設備が整えば、大規模くん蒸も一度取りやめて、先ほど吉岡委員からお話があったような形で進めていければと考えています。

(金子会長)

それでは本日の議題はすべて終了いたしました。議長の座を下ろさせていただきます。御審議ありがとうございました。